



「ODORI - FEST」

ロンドリーナ県人子弟と交流



パラナ州ロンドリーナ市日系団体の一つである「光グループ」の誘いに応じ、「Odori Fest」に参加のため、11月16日夜(金曜日)42名が参加。貸切りバスで往復1100キロの旅をした。

県人会の太鼓「雷神」が出演を依頼され、メンバーや家族などと一部会員が参加した。特に岩手県人子弟(故平野正雄氏家族、大船渡出身)が中心になっている「HIKARI」は地域で最大の団体らしく、サンパウロの「日本祭り」にも参加している。移住者1世が減少する現在、県人子弟との交流や県人のルーツ探しの一助になればと参加した。

翌朝17日(土曜)午前8時前ロンドリーナ着。街路には今が盛りと黄色い花(Brinco de Ouro)が迎えてくれた。ホテルで朝食。県人の娘エレナさん(父・平野正雄)の婿で、フェスティバルを仕切る黒本健次さんが市内案内役の江頭美氏を紹介。氏の案内で市内や広大な敷地を有する大学都市等を見学。約20キロ離れているローランジャの「パ



ナ移民資料館」を視察した。資料館には先人移住者が苦勞された貴重な資料が展示され、家財道具から開拓農耕作に使った機材、文化遺品等が適所に配置されていた。お陰で移住先駆者の新たな歴史を学ぶ

事が出来た。敷地には移民周年事業のシンボルや100周年記念塔、記念碑、初期移民がコロノとして生活した「移民小屋」、近年ある篤志家が建造した「神社」等があった。地方でも日本人移民の足跡として貴重な資料があり、次世代に初



期移民の歴史が伝えられてくる事を心強く感じた。ホテルにチェックインした後、祭りの多目的会場には各地方日会クラブやメンバーの名前入り飾り(この飾

りが資金源とか)が会場一杯に吊下がっており、中央には盆踊りの櫓が組まれていた。

祭りの開始は午後6時からで、特別提供された売店でサンパウロから持参した「餃子」を焼く準備を行う。パラナでは「餃子」は一般に知られていないとのこと。午後から「盆踊り姿」で各地のグループが続々と詰めかけた。最初に仏式で先没者供養があり全員が焼香した。地方組織から約800名ほど集まった老若男女が輪を作り、



祭りの主題である盆踊りが始まった。県人会の「雷神太鼓」による演目4曲が披露され万来の拍手を浴びた。最後には「餅まき」があり、私も櫓に呼ばれ1万个もあるのかなと思うほど大量の小さな餅を櫓から振りまいた。撒く度に歓声があがり祭りの幕を閉じた。

18日(日曜)は午後2時からの開演で、開会の挨拶後に「雷神太鼓」を披露。この日も「盆おどり」や様々な演目があったと聞いている。一行は予定を1時間を過ぎてサンパウロへと向い帰着は真夜中であつた。

★ 会場で子弟のエレナさんに故・及川衛(水沢出身、大正14年5月着)さんの奥さんと信子さんを紹介された。ご主人は数年前に亡くなられたとの事。



★ サンパウロ新聞特集号で紹介された、同市在住で長年日本語教育に携わった酒井政廣さんを紹介され、お話を聞くことが出来た。

ロンドリーナに在住した県人移住者や当時の家長、家族構成を昔の調書から調べている。当時の家族も長い年月にと共に分家や移動などにより、親族や在住した県人同士が疎遠になっているかも知れない。出来たら在住者に調書で県人の資料として家系の足がかりになればと思う。会場にいた移住1世とみられる方は数名で、2-3世が中心になり日本文化の継承が伝承されているようで心強く感じた。 千田